

海賊対処行動派遣部隊が無事任務を終え帰港

～ 第46次派遣海賊対処行動水上部隊帰国行事の様相 ～

第46次派遣海賊対処行動水上部隊がソマリア沖・アデン湾に向けて、2023年9月に日本を発つて以来、約7か月ぶりとなる4月13日に佐世保（長崎県）に帰港した。

同隊は、外川久人艦長が指揮を執る護衛艦「あけぼの」であり、田中利宣隊長ら8名の海上保安官を含む、約200名の乗員が事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア沖・アデン湾において4隻の直接護衛を実施したほか、海域を分担して警戒するゾーンディフェンスで多くの商船の安全を確認した。

これに加え、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行ってきた。

式典では、外川艦長が「一同任務を遂行して無事帰国しました」と帰国報告を行った後、齋藤聡自衛艦隊司令官が、商船のハイジャック対応、救助活動、付近海域にミサイルが着弾したことなどに触れ、「君たちは紛れもないヒーローだ。全力で任務に取り組む艦長と乗組員が刻々変化する情勢に適時適切に対応した現場が想像できる。いついかなる時も国民の為に力を尽くす強い意志を感じた」と称えた。

海上保安庁からは渡邊保範海上保安監が隊員を慰労する言葉を述べた。

当協会からは土屋恵嗣副会長、日本郵船(株) 進藤航グループ長、川崎汽船(株) 遠藤英明グループ長らが、国際船員労務協会からは池田事務局長、今田理事らが、全日本海員組合から池谷国際局長らが参加し、土屋副会長は「商船の護衛、お疲れさまでした」と周辺海域の脅威が高まるなかでの任務に謝意を伝えた。

出席した一同は無事帰国した外川艦長や田中隊長らに改めて感謝の意を伝えた。

(海務部 事務局)

帰国行事



帰国した外川艦長と乗員



訓示する齋藤自衛艦隊司令官



外川艦長と土屋副会長



海上保安庁 田中隊長及び7名の隊員



今回出席した海運界参加者



無事に帰国した「あけぼの」と海運界からのメッセージ